

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 名張市立名張小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒518-0718  
名張市丸之内55番地

E-mail g01\_e-nabari@nabari-mie.ed.jp

Website http://www.nabari-mie.ed.jp/e-nabari/

児童生徒数 男子 152名 女子 155名 合計 307名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 〔1年生〕

- ・学校探検や1年生を迎える会で、上級生や先生などに、学校について質問をしたり、一緒に遊んでもらったりすることを通して、コミュニケーション力を養うことができた。
- ・生活科であさがおやさつまいも・大根を育てることで、生長過程を知り、自然に親しむことができた。
- ・国語「どうぶつの赤ちゃん」や生活「わたしのかぞく」の学習を通して、命の大切さについて考え、自尊感情を育むことができた。
- ・「昔から伝わる遊び」の体験を通して、日本の伝統や文化を知ることができた。

#### 〔2年生〕

- ・生活科でさつまいもづくりをした。学校近くの苗屋さんに来ていただき、植え方を教わった。学級園に苗を植えた後、水やりと草抜きの世話をし、みんなで育てた。収穫した後、つるはかわかしてリースを作った。さつまいもは「おにまんじゅう」を作ってみんなで食べた。さつまいもの跡地には、大根の種をまいて育てた。野菜が育っていく様子を常に観察し、食べ物を大切に作る気持ちを持つことができた。
- ・町探検では、自分たちの住んでいる町をみんなで歩いた。それぞれが、自分の家の近くにあるものを紹介し、さらに名張の町に親しみを持つことができた。

#### 〔3年生〕

- ・名張市在住の李さんをお招きし、韓国の文化について教わった。国語科「3年とうげ」にまつわる楽器も紹介してもらい、楽器にも触れ、韓国の文化に親しみを持つことができた。
- ・仲間と一緒に安心してすごせる教室にするために、一人ひとりが友だちとどのように接したらいいか、どんな言葉遣いをすればよいか考え合い、大切にしたいことを人権兵庫に表し、掲示して、保護者や他の学年の友だちに見てもらった。

#### 〔4年生〕

- ・私たちが毎日学校や家庭で使っている水が、どこでどのように作られているかを富貴ヶ丘浄水場の見学を通してして学習した。浄水場では、水道水がいかに安全に作られているかを知ることができた。
- ・パッカー車が学校のゴミボックスからゴミを収集する様子を見学した。ゴミ収集の様子を間近で見た後、作業に携わっている職員の方から、普段の仕事で気をつけていることや、ゴミを出す時に気をつけてほしいこと、仕事に対する思いなどについて話を聞いた。さらに、伊賀市にある伊賀南部クリーンセンターを見学した。ゴミの処理をする様子を実際に見ることで、ゴミ処理の仕方やリサイクルについて理解することができた。また、最新の施設は、環境に配慮されているだけでなく、さまざまな取り組みを行うことで市民に対する啓発活動もしていることがわかった。
- ・河川レンジャーの西さんを招き、合計3回の授業をしていただいた。初回は、

フィールドワークも兼ねて、近くの名張川まで出かけ、川の歴史・浄水場との関係などについての説明を聞いた。2回目は、「名張の自然とホタル」について。実際にホタルを持ってきてもらい、手に取りながら、自然を守るについて考えた。3回目は、「伊勢湾台風と自然災害」をテーマとして、当時の名張の被害の様子を写した写真を見せてもらい、自分たちにできる「防災」や「減災」について考えた。

〔5年生〕

・韓国文化「衣食住」について、李辰淑さんをお招きし、話を聞かせていただいた。文化の共通点と相違点では、子どもたちにとって身近な食べ物・服装・住まいのことを教えていただいた。①主食の米・味噌・漬け物など同じような物を食べていること②住まいは床暖房の「オンドル」があること③服装は伝統服である着物とチマによって座り方に違いがあること、そして韓国の住まいにぴったりの衣装であることを学んだ。韓国文化を知るだけでなく、他国の文化「衣食住」についても調べ学習をした。調べたことをもとに、パンフレット作りに取り組み、他国の文化についてのまとめとした。

〔6年生〕

・名張市男女共同参画室の服部先生に来ていただいて、「見方を変える」「想像力をはたらかせよう」をテーマに話をしていただいた。ふだんの何気ない言葉や行動で、友だちがどのような気持ちになるか想像する、友だちの新たな一面を見てみるといった心がけで仲間とのつながりが深まると気づくことができた。また、「部落問題を考える小学生のつどい」に向けて、参加する児童だけではなく、学年全体で人権学習に取り組んだ。つどいを終えての交流や、学年集会を通して友だちとの関係を深める言葉、関係を切ってしまう言葉について考えた。1年間の様々な活動を通して、よりよい仲間づくりに向けて意識して行い、卒業式では学んだことやこれからの自分の生き方についての決意表明をする。

・修学旅行で「人と美来防災センター」を見学した。語り部の方の話を聴くに当たって、事前学習を行い（「あの日をわすれない はるかひまわり」絵本）体験を語るができるようになるまでには様々な心の葛藤があったことを知った。シアターで震災体験をしたり、展示物を見たりすることで、復興へ向かう人々のエネルギーをかんじることができた。

・外国語活動を通して様々な国の人々の生活や文化に触れることができた。また、韓国出身の李先生を講師に招き、ハングル文字カルタを楽しむ活動を行った。楽しみながら、ハングル文字に興味を持つことができた。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）